

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場取引所 東大

上場会社名 乾 汽船 株式会社

コード番号 9113 URL <http://www.inuishop.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 乾 新悟

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 阿部 健二

TEL 03-3548-3273

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	6,744	51.3	486	92.0	477	92.7	391	90.1
21年3月期第2四半期	13,854		6,101		6,538		3,961	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	13.32	
21年3月期第2四半期	134.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	27,302	21,617	79.2	735.03
21年3月期	28,990	21,839	75.3	742.57

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 21,617百万円 21年3月期 21,839百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期				26.00	26.00
22年3月期 (予想)				5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,300	35.8	1,000	87.0	1,000	86.9	700	81.0	23.80

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	29,429,335株	21年3月期	29,429,335株
-------------------	-------------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数	22年3月期第2四半期	19,288株	21年3月期	19,285株
---------	-------------	---------	--------	---------

期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	29,410,049株	21年3月期第2四半期	29,410,265株
--------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期(平成21年7月1日～平成21年9月30日)の世界経済は、1年前の金融危機に端を発した経済の急速な悪化による最悪期を、各国の財政・金融の緊急対応策により抜け出し、回復の傾向が強まってきております。

事業を取り巻く環境は、運賃及び用船市況について緩やかな回復基調が継続し、強力な起爆剤は見当たらないものの持続的な回復が期待できる明るい兆候が見られるようになりました。

昨年来の急激な市況の下落により、歴史的な海運好況にあった前年同期との比較では、売上高及び利益の大幅な減少を余儀無くされましたが、市況悪化に備えた中・長期貸船契約の締結や数量契約の締結等により収益の固定化・安定化比率を高めるとともに、持続的な支配船腹の効率配船に努めました結果、厳しい環境の中で、第1四半期に確保した利益を上積みすることが出来ました。

当第2四半期の平均為替レートは94.83円/米ドル(前年同期は108.22円/米ドル)であり、平均燃料油価格はUS\$396/MT(前年同期はUS\$645/MT)となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間(注：平成21年4月1日～平成21年9月30日)の連結売上高は6,744百万円(前年同期比7,110百万円減少)、営業利益は486百万円(前年同期比5,614百万円減少)、経常利益は477百万円(前年同期比6,061百万円減少)、四半期純利益は391百万円(前年同期比3,570百万円減少)となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日～平成21年9月30日)での連結売上高は3,762百万円(前年同期比3,521百万円減少)、営業利益は332百万円(前年同期比2,707百万円減少)、経常利益は316百万円(前年同期比2,606百万円減少)、四半期純利益は297百万円(前年同期比1,469百万円減少)です。

注) 前年同四半期の増減額は参考として記載しております。

注) 平成22年3月期第1四半期に関わる連結経営成績に関する定性的情報については、平成22年3月期第1四半期決算短信(平成21年8月7日開示)をご参照下さい。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産に関する分析

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,687百万円減少し、27,302百万円となりました。これは主に代理店債権223百万円の増加、現金及び預金1,142百万円、船舶835百万円等の減少によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,466百万円減少し、5,684百万円となりました。これは主に未払法人税等1,049百万円、借入金367百万円等の減少によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ221百万円減少し、21,617百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金162百万円の増加、繰延ヘッジ損益11百万円ならびに利益剰余金372百万円の減少等によるものです。

以上の結果、連結ベースの自己資本比率は79.2%となりました。

(2) キャッシュ・フローに関する分析

当第2四半期連結会計期間末における現金同等物(以下「資金」という。)は8,711百万円となり、第1四半期連結会計年度末に比べ918百万円の増加(前年同四半期末比1,202百万円の減少)となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュフローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュフロー)

営業活動により増加した資金は467百万円(前年同四半期は3,995百万円の増加)で、これは主に税金等調整前四半期純利益502百万円ならびに減価償却費423百万円等による増加、“仕入債務の減少”132百万円ならびに“棚卸資産の増加”192百万円等の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュフロー)

投資活動により増加した資金は693百万円(前年同四半期は1,543百万円の減少)で、これは主に投資有価証券の取得による支出218百万円、投資有価証券の売却による収入819百万円ならびに投資有価証券の償還による収入100百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュフロー)

財務活動により減少した資金は166百万円(前年同四半期は268百万円の減少)で、これは主に長期借入金の返済169百万円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第1・第2四半期につきましては、概況で記述いたしましたとおり、期初計画を上回る売上高ならびに利益を達成しました。夏場以降は運賃ならびに用船市況の持続的な回復が期待されること、為替レートが円高傾向であること、原油価格が期初の想定よりも高水準であること等を考慮し、現時点であらためて事業環境を見直しました結果、通期の利益に関しては、以下のとおりの予想といたします。

(平成22年3月期連結業績予想)

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
第2四半期累計期間実績	6,744	(6,750)	486	(480)	477	(470)	391	(390)
通期予想	14,300	(14,000)	1,000	(900)	1,000	(1,000)	700	(550)

注：第2四半期累計期間に係る（ ）内の数値は、平成21年10月27日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」による予想数値です。また、通期予想に係る（ ）内の数値は、第1四半期決算発表に開示した業績予想数値です。

なお、第3四半期以降の為替、燃料油価格の予想前提は以下の通りです。

	第3～第4四半期前提 (今回予想) (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)	第3～第4四半期前提 (前回予想 第1四半期発表時) (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)
為替レート (円/1米ドル)	¥90.00	¥95.00
燃料油価格 (US\$/MT)	US\$470.00	US\$420.00

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当第2四半期連結累計期間
(自 平成21年4月1日
至 平成21年9月30日)

(四半期連結損益計算書)

1. 従来、四半期連結損益計算書については、「海運企業財務諸表準則」(昭和29年運輸省告示第431号)に基づいて表示しておりましたが、当連結会計年度より、四半期連結損益計算書の明瞭性を高めるため、「四半期連結財務諸表規則」に即して、従来、海運業収益及びその他事業収益を合計して売上高の「海運業収益及びその他の営業収益」として、従来、海運業費用及びその他事業費用を合計して売上原価の「海運業費用及びその他の営業費用」として表示しております。当該変更に伴い、従来、海運業利益及びその他事業利益を合計し、売上総利益として表示しております。

なお、当第2四半期連結累計期間における「運賃」は5,593,699千円、「貸船料」は1,135,591千円、「その他海運業収益」は5,705千円、「運航費」は2,556,651千円、「船費」は1,785,462千円、「借船料」は1,375,461千円、「その他海運業費用」は49,693千円であり、海運業収益合計6,734,995千円、海運業費用合計5,767,269千円、海運業利益967,726千円であります。また「その他事業収益」は9,481千円、「その他事業費用」は4,473千円、「その他事業利益」は5,008千円であります。

2. 前第2四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「船舶燃料受渡差額金」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第2四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「船舶燃料受渡差額金」は62,565千円あります。

当第2四半期連結会計期間
(自 平成21年7月1日
至 平成21年9月30日)

(四半期連結損益計算書)

1. 従来、四半期連結損益計算書については、「海運企業財務諸表準則」(昭和29年運輸省告示第431号)に基づいて表示しておりましたが、当連結会計年度より、四半期連結損益計算書の明瞭性を高めるため、「四半期連結財務諸表規則」に即して、従来、海運業収益及びその他事業収益を合計して売上高の「海運業収益及びその他の営業収益」として、従来、海運業費用及びその他事業費用を合計して売上原価の「海運業費用及びその他の営業費用」として表示しております。当該変更に伴い、従来、海運業利益及びその他事業利益を合計し、売上総利益として表示しております。

なお、当第2四半期連結会計期間における「運賃」は3,098,658千円、「貸船料」は653,393千円、「その他海運業収益」は5,535千円、「運航費」は1,437,543千円、「船費」は862,916千円、「借船料」は834,133千円、「その他海運業費用」は30,134千円であり、海運業収益合計3,757,586千円、海運業費用合計3,164,728千円、海運業利益592,858千円あります。また「その他事業収益」は4,743千円、「その他事業費用」は2,213千円、「その他事業利益」は2,529千円あります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,711,012	9,853,740
海運業未収金	397,354	445,369
有価証券	27,700	160,562
貯蔵品	556,791	420,637
繰延及び前払費用	177,443	209,939
その他	524,683	278,664
貸倒引当金	278	278
流動資産合計	10,394,705	11,368,635
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	10,073,546	10,908,853
その他(純額)	1,795,840	1,802,372
有形固定資産合計	11,869,387	12,711,225
無形固定資産	8,609	9,964
投資その他の資産		
投資有価証券	4,627,225	4,506,006
その他	429,779	421,822
貸倒引当金	27,528	27,528
投資その他の資産合計	5,029,475	4,900,300
固定資産合計	16,907,472	17,621,490
資産合計	27,302,177	28,990,125
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	1,236,712	1,401,478
短期借入金	773,320	778,126
未払法人税等	480,903	1,529,970
賞与引当金	24,121	26,629
役員賞与引当金	-	58,000
その他	462,535	309,268
流動負債合計	2,977,593	4,103,472
固定負債		
長期借入金	1,838,558	2,201,651
繰延税金負債	537,845	562,536
退職給付引当金	69,187	63,712
特別修繕引当金	204,250	162,750
その他	57,473	56,922
固定負債合計	2,707,314	3,047,572
負債合計	5,684,907	7,151,045

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,351,682	3,351,682
資本剰余金	2,098,314	2,098,314
利益剰余金	15,549,173	15,921,983
自己株式	6,249	6,246
株主資本合計	20,992,921	21,365,734
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	222,499	384,847
繰延ヘッジ損益	12,338	992
為替換算調整勘定	859,186	859,186
評価・換算差額等合計	624,348	473,346
純資産合計	21,617,270	21,839,080
負債純資産合計	27,302,177	28,990,125

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
海運業収益		
運賃	11,065,439	-
貸船料	2,769,440	-
その他海運業収益	8,765	-
海運業収益合計	13,843,645	-
海運業費用		
運航費	3,726,985	-
船費	1,980,801	-
借船料	1,452,354	-
その他海運業費用	129,452	-
海運業費用合計	7,289,594	-
海運業利益	6,554,051	-
その他事業収益	11,344	-
その他事業費用	4,440	-
その他事業利益	6,904	-
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	-	6,744,477
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	-	5,771,742
売上総利益	-	972,734
一般管理費	459,719	486,358
営業利益	6,101,236	486,375
営業外収益		
受取利息	96,884	25,325
受取配当金	35,865	41,736
為替差益	321,349	-
保険解約返戻金	-	54,348
船舶燃料受渡差額金	-	47,211
その他	64,795	17,636
営業外収益合計	518,894	186,258
営業外費用		
支払利息	28,238	16,204
有価証券運用損	49,760	-
為替差損	-	176,217
その他	3,254	2,854
営業外費用合計	81,252	195,277
経常利益	6,538,878	477,357
特別利益		
投資有価証券売却益	-	186,139
特別利益合計	-	186,139

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
特別損失		
前期損益修正損	40,361	-
投資有価証券評価損	29,992	-
その他	115	-
特別損失合計	70,468	-
税金等調整前四半期純利益	6,468,409	663,496
法人税、住民税及び事業税	2,814,967	484,513
法人税等調整額	308,494	212,867
法人税等合計	2,506,472	271,645
四半期純利益	3,961,936	391,851

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
海運業収益		
運賃	5,848,801	-
貸船料	1,425,317	-
その他海運業収益	4,637	-
海運業収益合計	7,278,756	-
海運業費用		
運航費	2,047,248	-
船費	1,111,007	-
借船料	794,972	-
その他海運業費用	67,178	-
海運業費用合計	4,020,408	-
海運業利益	3,258,347	-
その他事業収益	5,032	-
その他事業費用	1,905	-
その他事業利益	3,127	-
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	-	3,762,329
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	-	3,166,942
売上総利益	-	595,387
一般管理費	221,572	262,710
営業利益	3,039,903	332,676
営業外収益		
受取利息	67,498	13,310
受取配当金	8,071	10,745
保険解約返戻金	-	54,348
船舶燃料受渡差額金	34,398	24,289
その他	2,043	1,588
営業外収益合計	112,011	104,281
営業外費用		
支払利息	13,774	7,058
有価証券運用損	101,200	5,664
為替差損	113,728	106,228
その他	449	1,572
営業外費用合計	229,153	120,523
経常利益	2,922,761	316,434
特別利益		
前期損益修正益	920	-
投資有価証券売却益	-	186,139
特別利益合計	920	186,139

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
特別損失		
投資有価証券評価損	29,992	-
その他	115	-
特別損失合計	30,107	-
税金等調整前四半期純利益	2,893,575	502,574
法人税、住民税及び事業税	1,165,078	250,193
法人税等調整額	38,245	44,767
法人税等合計	1,126,833	205,425
四半期純利益	1,766,741	297,148

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,468,409	663,496
減価償却費	843,752	847,303
貸倒引当金の増減額(は減少)	130	-
賞与引当金の増減額(は減少)	6,056	2,507
特別修繕引当金の増減額(は減少)	31,000	41,500
受取利息及び受取配当金	132,749	67,061
支払利息	28,238	16,204
投資有価証券売却損益(は益)	-	186,139
為替差損益(は益)	313,690	170,714
未収消費税等の増減額(は増加)	17,771	16,133
たな卸資産の増減額(は増加)	193,949	136,153
売上債権の増減額(は増加)	159,035	48,015
仕入債務の増減額(は減少)	490,430	149,832
その他	111,399	100,743
小計	6,974,966	1,160,931
利息及び配当金の受取額	137,552	71,371
利息の支払額	28,580	16,398
法人税等の支払額	3,028,547	1,523,156
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,055,390	307,252
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,253,969	19,239
無形固定資産の取得による支出	-	547
投資有価証券の取得による支出	365,718	463,540
投資有価証券の売却による収入	-	819,480
投資有価証券の償還による収入	-	128,521
貸付金の回収による収入	895	4,380
その他	6,306	12,337
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,625,099	456,716
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	100,000	-
長期借入金の返済による支出	340,675	338,590
配当金の支払額	1,172,511	760,756
その他	-	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,613,187	1,099,348
現金及び現金同等物に係る換算差額	329,162	192,842
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,146,267	1,142,727
現金及び現金同等物の期首残高	8,767,453	9,853,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,913,720	8,711,012

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
当社及び連結子会社の営んでいる事業のうち、海運業の売上高及び営業利益の金額は、全体の売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。	当社及び連結子会社の営んでいる事業のうち、海運業の売上高及び営業利益の金額は、全体の売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

	前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）				
	日本 (千円)	パナマ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,854,990	—	13,854,990	—	13,854,990
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	176,050	2,372,498	2,548,548	(△2,548,548)	—
計	14,031,040	2,372,498	16,403,539	(△2,548,548)	13,854,990
営業利益	5,796,282	304,953	6,101,236	—	6,101,236

	当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）				
	日本 (千円)	パナマ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,744,477	—	6,744,477	—	6,744,477
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	78,000	1,704,235	1,782,235	(△1,782,235)	—
計	6,822,477	1,704,235	8,526,713	(△1,782,235)	6,744,477
営業利益又は営業損失（△）	556,306	△69,930	486,375	—	486,375

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	北米	ヨーロッパ	アジア	オセアニア	その他	計
I 海外売上高（千円）	1,082,040	1,463,737	1,005,415	2,412,819	1,255	5,965,267
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	—	13,854,990
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	7.8	10.6	7.3	17.4	0.0	43.1

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	北米	ヨーロッパ	アジア	オセアニア	その他	計
I 海外売上高（千円）	827,648	638,088	133,629	1,377,100	43	2,976,510
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	—	6,744,477
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	12.3	9.5	2.0	20.4	0.0	44.1

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ、カナダ

(2) ヨーロッパ……………ドイツ、ノルウェー、オランダ、ベルギー

(3) アジア……………マレーシア、香港、タイ、シンガポール、韓国、中国

(4) オセアニア……………オーストラリア、ニュージーランド、バヌアツ

(5) その他……………パナマ、アフリカ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。